

第三者評価結果

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
【A1】	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	b
<コメント> 全体的な計画(保育課程)が作成されており、保育所の理念・方針や目標に基づいて作成されています。また子どもの発達過程、家庭の状況や保育時間・地域の実態などを考慮したものとなっています。作成に当たっては職員が参画し定期的に評価も行っています。		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
【A2】	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b
<コメント> 室内環境は適切な状態になっており、家具や遊具等の素材・配置等の工夫もされています。また、設備用具や寝具の衛生管理もされています。落ち着ける場所もあり、生活空間も確保されています。手洗い場・トイレは毎日掃除を行っており、安全の確保・工夫もされています。		
【A3】	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b
<コメント> 個人差を尊重し、自分の気持ちを表現出来るように配慮し、子どもの気持ちを汲み取ろうとしている事を記録から確認しました。分かりやすい言葉使いで穏やかに話している事や急かす言葉や静止させる言葉を用いない様になっている事を見学時に確認しました。		
【A4】	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
<コメント> 生活習慣を身につけるにあたって子どもの気持ちを尊重し、強制することなく主体性を尊重した援助を行っています。また、活動と休息のバランスが保たれるように工夫をしており、生活習慣を身につける事を子供が理解できるように働きかけています。		
【A5】	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b
<コメント> 主体的に活動できる環境が整備されており、人間関係が育まれるような援助をしています。また、自然と触れ合う事が出来るよう工夫もされており、地域の人たちと接する機会、社会体験が得られる機会も設けています。		
【A6】	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 乳児保育(0歳児)に適した生活と遊び、及び環境への工夫がされており、情緒の安定が保たれるよう配慮しています。また、発達過程に応じた必要な保育も行っており、家庭との連携も密にしています。		
【A7】	A-1-(2)-⑥ 1歳以上3歳児未満の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b

<コメント>

3歳児未満の保育においては、自発的な活動が出来るようにしたり、自我の育ちを受け止めるような関わりをしています。子どもの気持ちを尊重し探索活動が行える環境も整備しています。異年齢児及び大人との関わりは有りますが、尚、積極的な関わりを計る事を期待します。家庭と連携した取り組みや配慮もされています。

【A8】	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。
------	--

a

<コメント>

3歳以上児の保育は、各年齢に合わせた集団の中での適切な保育を行っています。また、保育園での保育実態等について小学校に児童保育要録を作成し伝えています。

【A9】	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント></p> <p>障害のある子どもに配慮した環境整備はされています。また、保護者との連絡を密にする配慮もしています。職員は障がいのある子供についての知識や情報も得ています。評価期間内で医療機関や専門機関に相談や助言を受けるケースは有りませんでした。</p>		
【A10】	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント></p> <p>長時間保育の環境は整えており、子ども主体の取り組みをされています。異年齢の子どもと過ごす事にも配慮しており、食事やおやつ等に配慮した提供も行っています。子どもの状況について保育士間の引継ぎを連絡漏れが無いようにしており、保護者との連携も配慮したものとなっています。</p>		
【A11】	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b
<p><コメント></p> <p>保育所児童要録が作成されており、小学校との交流会や運動会への参加等の機会も設けられています。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
【A12】	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b
<p><コメント></p> <p>健康管理マニュアルが作成されており、それに沿って健康状態を把握しており、体調悪化・怪我などについては保護者に伝えるようにしています。また、健康状態に関する情報を職員間で周知・共有しています。健康に関わる必要な情報も得られるように努めており、保護者に対して健康管理に関する方針や取り組みを伝えています。乳幼児突然死症候群に関して職員に周知し、必要な取り組みを行っており、保護者に対しても必要な情報を提供しています。</p>		
【A13】	A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	a
<p><コメント></p> <p>健康診断・歯科検診結果が記録され、職員に周知されています。また、その結果を保険安全年間計画に反映させています。家庭に対しても結果を保護者に伝えています。</p>		
【A14】	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>アレルギー児に対しては診断書、除去食申請書により除去食を提供しています。アレルギー献立表を見ながら調理・配膳し、担任保育士と調理員の2重チェックで提供しています。除去内容は毎日保護者へ連絡帳を通して伝えています。アレルギー対応を職員間で情報共有をしています。他の子どもに食物アレルギーについての話をし、なぜ違う物を食べているのか、食べるとどのような症状が出るかなど話をしています。</p>		
A-1-(4) 食事		
【A15】	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫している。	a
<p><コメント></p> <p>食育計画が作成されています。行事食の時などは、テーブルクロスをしいたり、花や制作物を置いて、楽しい雰囲気づくりを行っています。体調不良の子どもには、お粥にしたり、牛乳を麦茶に変更するなど配慮を行っています。食器や食具は、年齢に合ったものを使用しています。行事食や食育体験などを通して、食に関心をもてる取り組みを行っており、その様子を給食だよりを通して保護者へ伝えています。</p>		
【A16】	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a

<p><コメント></p> <p>発育状況や体調を考慮した献立、季節の食材や行事食などを取り入れた献立を作成し、調理の工夫もしています。残食記録や嗜好などを把握し、改善・工夫をしています。また、調理員、栄養士が子どもの話を聞いたりしています。毎日衛生管理点検の記録を行い、マニュアルに基づいた衛生管理を行っています。</p>
--

A-2 子育て支援

	第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携	
【A17】 A-2-(1)-①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。
	a
<p><コメント></p> <p>連絡帳で家庭との日常的に情報交換を行っています。また、各行事への参加を促し子どもの成長を共有出来る様にしています。年度初めの説明会や保育参加懇談会・面談で保育の意図や保育内容を理解してもらっています。家庭の状況、保護者との情報交換の内容は児童票や個別面談記録に記録しています。</p>	
A-2-(2) 保護者等の支援	
【A18】 A-2-(2)-①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。
	b
<p><コメント></p> <p>保護者との信頼関係を築く取り組みを連絡帳や個別面談等で行っています。保護者からの相談については、クラス担任以外にも相談窓口を設置し、相談に応じる体制になっています。また、保育所の特性を活かして一時保育・子育て広場を実施しています。</p>	
【A19】 A-2-(2)-②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。
	b
<p><コメント></p> <p>被虐待児対応マニュアルが整備されており、職員研修も実施されております。評価期間内に対象となる事例は有りませんでした。</p>	

A-3 保育の質の向上

	第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	
【A20】 A-3-(1)-①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。
	b
<p><コメント></p> <p>保育園独自で自己評価チェック表を使い職員の自己評価を実施しています。集計し園全体での評価及び振り返りとして保育実践につながるようにしています。今後は職員一人ひとりの育成に向けた取り組みを期待致します。</p>	